自動車総連

全日本自動車産業労働組合総連合会

2025年9月29日発行　自動車総連　第567号（通刊737号）
ホームページアドレス　：https://www.jaw.or.jp
フェイスブックアドレス：https://www.facebook.com/jaw5811/
東京都港区高輪 4-18-21　View-well Square
電話／03（5447）5811（代表）
発行人：金子 晃浩

HP　Facebook

第31期運動方針を確認、産業の魅力向上を目指し最大限取り組む！

第54回大会を開催

自動車総連は９月４日～５日の両日、東京ビッグサイト国際会議場において大会を開催した。

●金子会長挨拶
●来賓挨拶
●報告承認事項
　◆一般経過報告
　◆第30期後半期決算報告
●特別報告
　◆第8次組織拡大中期計画
　◆第27回参議院選挙結果報告
●議事
　◆第１号議案：自動車総連規約改定の件
　◆第2号議案：自動車総連規程改定の件
　◆第3号議案：役員選挙の件
　◆第4号議案：顧問・法律顧問委嘱の件
　◆第5号議案：第31期運動方針（案）
　◆第6号議案：第31期前半期予算（案）
　◆第7号議案：退任役員表彰の件

挨拶する金子会長

第54回大会第１日目は高橋中央執行委員（日産労連）の司会で開幕し、金子会長の挨拶に続いて国内外の来賓からご挨拶をいただいた。

報告承認事項の審議では、「一般経過報告」、「第30期後半期決算報告」、特別報告「第８次組織拡大中期計画」が承認された。最後に第27回参議院選挙結果報告が行われ、これをもって第１日目を終了した。

第２日目は議事として「自動車総連規約改定の件」について投票を行った後、「自動車総連規程改定の件」が可決された。その後「役員選挙の件」について投票を行った後「顧問・法律顧問委嘱の件」、「第31期運動方針（案）」、「第31期前半期予算（案）」がそれぞれ可決された。最後に「退任役員表彰の件」が承認され、第54回大会は終了した。

議長：橋本 代議員
（全いすゞ労連）

議長：織田 代議員
（日野労連）

第31期新任役員

政策実現・組織強化・産業の未来のために今後も取り組みを進める

金子 晃浩 会長

参議院選について

我々の支援する「国民民主党」が、４倍増を超える17議席を獲得する大躍進を果たし、衆参ともに与党を過半数割れに追い込んでいる現状を踏まえれば、今が我々の望む政策の実現に向けての絶好機であると考える。まずは、今度こそガソリン税の暫定税率の廃止を実現し、軽油についても早急に同様の対応を進めるべきである。さらに、年末に控えた自動車関係諸税の抜本的見直しの論議を契機に、車体課税も含めた軽減・簡素化を果たすべく、精力的に取り組んでいく。

参議院選から見えた課題

今回の獲得票は、前回（６年前）と比べて７万票以上減らす結果となった。これは憂慮すべき事態であり、今回の選挙結果から見えてきた世の中の傾向に鑑みれば、決して選挙だけに留まらず、もっと根幹の労働組合としてのあり方にも関わってくる課題が見えてきたと考える。傾向を３点挙げる。

１点目は「日本国内の右傾化の進展」という点である。先の参議院選挙では「参政党」の躍進により、国内外から日本の右傾化を懸念する声があがっている。

参政党の支持世代を見ると、若年層に加え、40、50代の壮年層での支持が目立っている。今回の結果は、その世代の不平・不満・不安を、既存の政治体制が解消してこれなかった結果とも言える。

我々の活動に落としてみると、反省すべき点はあったと考える。例えば、賃上げは全体では高水準の原資を獲得することができたが、若年層に厚く配分した結果、高年齢層には十分賃上げできなかった例が散見される。また、社会全体で長らく不安定雇用・低賃金に甘んじてきた結果、将来への不安を抱えている方たちは相当数に上る。生産年齢人口の減少、急激な高齢化が進む日本社会において、自動車産業も例外になく大変難しい課題ではあるが、我々は社会保障制度についてもっと自分事と捉え、国民レベルでの議論をする必要がある。

２点目は「若者の政治参画意識の向上」という点である。今回の参議院選では、若年層での投票率が上がっており、若者の政治参画意識の高まりが見られた。

選挙に限らず日常の組合活動においても、彼ら彼女らにとっての単なる情報提供者に留まらず、どれだけ信頼され、必要とされる存在になるかが、組織力の維持に直結している。そのためには、我々は若者たちの声に耳を傾け、真摯に向き合い、納得する解を誠実に示し続けていく必要がある。

３点目は「個人主義の拡大」という点である。今回の選挙では、労働組合のみならず与野党問わず特定の組織に支えられた候補者は軒並み票数を落としている。“組織の意向と個人の志向”このバランスの変化は、今後の選挙のあり方に一石を投じたものである。

既に職場の中でも多様化が進んでいる。そういう意味では、労働組合としても一元的かつ一方的な主張は通じなくなってきている。その解決策の一つとしては、組織内の構成を職場同様に多様化させ、様々な声をあがりやすくした上で、職場の役に立つ活動を、地道に積み重ねていくことが求められる。

来期の取り組みに関して

■ジェンダー平等推進、組織拡大

自動車総連として力を注いできた「ジェンダー平等に向けた取り組み」について、“価値観や働き方が多様化する現代において性別のみならず様々な違いを尊重し合い、誰もが自分らしく働ける環境を整えることは、働く人の幸福だけでなく、組織の力を高める鍵となる”との考えから、今後も重要な取り組みと位置付けていく。

加えて、「組織拡大の次期計画」も挙げられる。いずれの取り組みにおいても、重要な取り組みとして推進していく。

■来春の取り組み

「春の取り組み」に関して、今次取り組みでは、近年に無い極めて大幅な賃上げを果たした前年を更に上回る水準を獲得することができた。

一方で、それでもなお物価上昇を上回る水準には達しておらず、生活水準の改善には至っていない。規模の大小にかかわらず産業全体で賃金を引き上げていくことが求められている。

来春に向けた方針検討はこれからのため、断定的なことを言う段階ではないが、この３年間で定着してきた賃上げの流れを今後も持続可能なものにしていかなければならない。そのためにも、これまで進めてきた取引の適正化に向けた取り組み「グッドサイクル運動」を、更にティアの全域に浸透させていく必要があり、着実に深化させていかなければならない。

■将来に渡る産業の魅力向上

「将来に渡る産業の魅力の向上」について、自動車産業は現在、大きな変化の途上にある。それに伴い、企業や事業の再編の動きが見られることから、今後、雇用に影響を与えかねない事案が発生しないか注視している。自動車総連では国内雇用の確保を第一に考え、各方面と連携しながら最善策を講じていく所存である。

一方で、産業の持続的な発展を目指していくためには、産業の魅力を向上させていく必要があり、そのために働く仲間たちが生き生きとやりがいをもって働ける環境を整えることが欠かせない。課題は山積していることは承知しているが、この施策が産業の魅力向上への十分条件である以上、自動車総連として旗を振り続けていきたいと考えている。我々も実現に向け、最大限の取り組みを行っていくので、各労連、単組においても引き続き協力をお願いする。

来賓挨拶

来賓として、連合 芳野友子会長、金属労協（JCM）神保政史副議長、国民民主党 玉木雄一郎代表にご出席いただき、それぞれご挨拶をいただいた。

連合 芳野会長

金属労協（JCM）神保副議長

国民民主党 玉木代表

海外来賓挨拶

海外来賓として６組織８名の方にご出席をいただき、代表としてITUC 郷野晶子会長、IndustriALL 松﨑寛書記次長、UNI グローバルユニオン ドワイヤー会長にご挨拶をいただいた。

ITUC 郷野会長

IndustriALL 松﨑書記次長

UNIグローバルユニオン ドワイヤー会長

報告承認事項

一般経過報告

「第30期後半期運動の経過報告」、「2025年総合生活改善の取り組み総括」について報告し、全会一致で承認された。

並木 事務局長

藤川 副事務局長

第30期後半期決算報告

「第30期後半期決算報告」について報告し、全会一致で承認された。

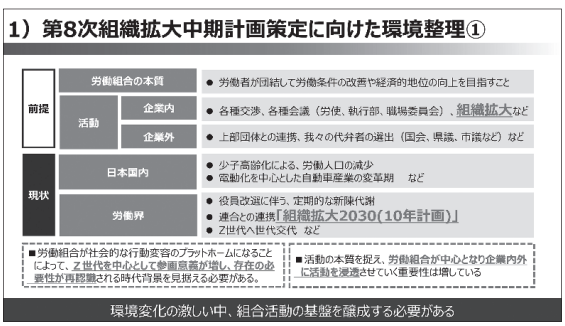
繁野 企画総務局局長

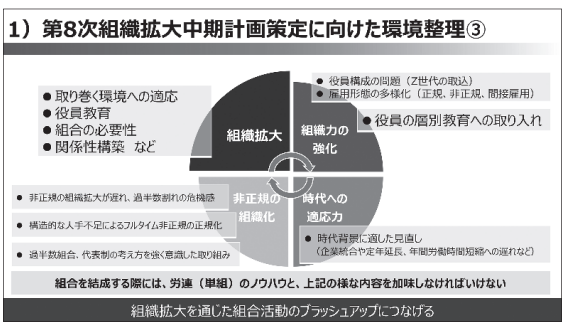
佐俣 会計監査

特別報告 第８次組織拡大中期計画

特別報告をする 金持 組織局局長

第７次組織拡大中期計画の総括を報告した後、第８次組織拡大中期計画の策定に向けて、中長期的な考え方や自動車総連・労連による具体的な取り組み、組織拡大目標等について提案した。





いそざき議員 3度目の当選！

挨拶する　いそざき哲史 参議院議員

手取りを増やす政策を前進させていくことを誓う

7月20日に行われた参議院選挙において、皆様の力強いご支援により3度目の当選を果たすことができました。厳しい選挙戦を支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。皆様のおかげで国民民主党も議席を大きく伸ばし、秋から始まる国会に向けて、党としての存在感を発揮する機会を得ました。自民党の議席数減少により、与野党の力関係にも変化が生まれ、今こそ政策を前進させるチャンスであると思っています。将来に希望が持てる社会の実現のために「手取りを増やす政策」を前進させなければなりません。自動車関係諸税など課題は山積していますが、浜口議員とタッグを組み、皆様の声を国政に届けるべく、全力で取り組む6年間にしていきたいと思います。

今回の選挙を通じて改めて感じたことは、皆さんの一票が政治を動かし、政策を実現する力になるということです。今後も皆様と共に、国会で全力を尽くしてまいりますので、引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

金子会長と堅い握手

議事

第1号議案　自動車総連規約改定の件

自動車総連規約改定の件について提案され、全会一致で承認された。

第2号議案　自動車総連規程改定の件

自動車総連規程改定の件について提案され、全会一致で承認された。

第3号議案　役員選挙の件

第31期役員が提案され、全員が信任された（新任役員一覧は、P5に記載）。

第4号議案　顧問・法律顧問委嘱の件

第31期顧問・法律顧問の委嘱について提案され、全会一致で承認された。

第5号議案　第31期運動方針（案）

第31期運動方針について提案され、全会一致で承認された。

第6号議案　第31期前半期予算（案）

第31期前半期予算について提案され、全会一致で承認された。

第7号議案　退任役員表彰の件

退任役員代表挨拶
寺門　勉　前副会長

今大会をもって以下の23名の方が退任されました。これまでの自動車総連活動へのご尽力に感謝するとともに、今後の活躍をご祈念いたします。

三役

寺門　勉	前副会長／日産労連

中央執行委員（非専従）

吉清　一博	前中央執行委員／全トヨタ労連
小川　敬太	前中央執行委員／全トヨタ労連
水清田　聡	前中央執行委員／日産労連
土肥　孝太	前中央執行委員／全本田労連
徳永　隼人	前中央執行委員／全本田労連
松﨑　兼二	前中央執行委員／三菱自動車ふそう労連
川又　敏之	前中央執行委員／SUBARU労連
森　　茂喜	前中央執行委員／ダイハツ労連

中央執行委員（専従）

岡野芙由美	前中央執行委員／全トヨタ労連
繁野　慶一	前中央執行委員／全トヨタ労連
粕谷　　強	前中央執行委員／日産労連
池田智香子	前中央執行委員／全本田労連
宮下　祐太	前中央執行委員／SUBARU労連

特別中央執行委員

森田　義之	前特別中央執行委員／全トヨタ労連

常任執行委員

徳田　和宏	前常任執行委員／全トヨタ労連
岡崎　哲也	前常任執行委員／日産労連
松丸　拓也	前常任執行委員／日産労連
伊与田紀之	前常任執行委員／全本田労連
古賀　敦男	前常任執行委員／全国マツダ労連
小野　裕也	前常任執行委員／ダイハツ労連
蔦　　真人	前常任執行委員／全いすゞ労連

会計監査

佐俣　光男	前会計監査／全いすゞ労連

第31期新任役員

三役

会　　長	金子　晃浩	（全トヨタ労連）	副　会　長	永瀬　秀樹	（三菱自動車ふそう労連）
副　会　長	久重　道正	（全国マツダ労連）		大喜多　宏行	（日産労連）
	西野　勝義	（全トヨタ労連）	事 務 局 長	並木　泰宗	（日産労連）
	前田　了二	（全本田労連）			

副事務局長	佐藤　好一	（全本田労連）
	冨田　悟史	（全国マツダ労連）
	藤川　大輔	（三菱自動車ふそう労連）
	光田　聡志	（全トヨタ労連）

中央執行委員

（非専従）

平野　康祐	（全トヨタ労連）		原田　悟	（全国マツダ労連）	
鬼頭　圭介	（全トヨタ労連）		藤川　裕之	（三菱自動車ふそう労連）	
鬮川　隆行	（全トヨタ労連）		猿山　絵美	（三菱自動車ふそう労連）	
林　耕右	（全トヨタ労連）		武藤　憲司	（スズキ労連）	
川崎　俊輔	（日産労連）		寺田　秀典	（SUBARU労連）	
稲生　光	（日産労連）		東添　孝	（ダイハツ労連）	
高橋　壮太	（日産労連）		鈴木　桂	（全いすゞ労連）	
岡本　政彦	（日産労連）		会田　和博	（日野労連）	
古田土　修一	（全本田労連）		平野　雅紀	（ヤマハ労連）	
大八木　行雄	（全本田労連）		岡田　照明	（部品労連）	

（専従）

山本　健太	（全トヨタ労連）	政治政策局 局長
平子　知明	（全本田労連）	政治政策局 局長
金持　史宣	（全トヨタ労連）	組織局 局長
小沢　翔平	（日野労連）	業種政策局 局長
鈴木　誠	（三菱自動車ふそう労連）	業種政策局 局長
西谷　涼子	（全トヨタ労連）	国際局 局長
北井　紀行	（全トヨタ労連）	労働政策局 局長
高橋　慎吾	（日産労連）	企画総務局 局長

特別中央執行委員

山本　昌弘	（全トヨタ労連）連合派遣
冨田　珠代	（日産労連）連合派遣
城生　雅浩	（日産労連）連合派遣
平川　秀行	（三菱自動車ふそう労連）金属労協派遣
春田　雄一	（スズキ労連）連合派遣

常任執行委員

青木　重信	（日産労連）	政治政策局 部長	佐山　匠	（日産労連）	業種政策局 部長
渡邉　優介	（ダイハツ労連）	政治政策局 部長	渡邉　浩司	（スズキ労連）	業種政策局 部長
福田　聖二	（全国マツダ労連）	政治政策局 部長	染矢　亮	（全本田労連）	業種政策局 部長
入佐　昌和	（ヤマハ労連）	組織局 部長	熊谷　芙美子	（全本田労連）	労働政策局 部長
松浦　潤	（日産労連）	組織局 部長	竹内　弘明	（部品労連）	労働政策局 部長
藤田　絢子	（SUBARU労連）	組織局 部長	森下　大地	（全いすゞ労連）	労働政策局 部長
北中　健太	（全トヨタ労連）	業種政策局 部長	山口　祐良	（全トヨタ労連）	企画総務局 部長

会計監査

雪嶋　秀樹	（ヤマハ労連）
田中　清文	（部品労連）

職員

今野　美香	政治政策局 部長		後藤　久子	企画総務局
齋藤　亜沙美	業種政策局		小泉　優子	企画総務局
北野　絹子	国際局		川下　明子	企画総務局 部長
前田　麻依子	国際局		金村　乃美	企画総務局
時藤　紀子	労働政策局			

企画総務局主任推進役

野室　巌

アドバイザー

江口　実
安部　輝実

労連意見表明

第31期運動方針が決定されたことを受けて、自動車総連加盟12労連の代議員が意見表明を行った。
その後、各労連の意見に対して本部の並木事務局長からコメントを発表した。

全トヨタ労連　松下 克裕 代議員

自動車が目指す政策実現と各労連との連携について

自動車総連の運動方針の中でも「産業の魅力の維持・向上につながる政策・制度課題への取り組み」「働く者の将来不安払拭に向けた政策の実現」「政策実現に向けた組織強化活動」など、「政策」の取り組みに重きを置いていることがうかがえるが、自動車総連が掲げる政策と政策実現に向けた取り組み、及び各労連と連携について、来期、総連台で実行しようとしていることをあらためて伺いたい。

日産労連　中村　隆 代議員

「9I組織強化活動」と「安全衛生の取り組み」

今後の政策実現の取り組みについて自動車総連には、政策実現の動きをつぶさに共有いただき、労連・単組を通じて一人ひとりの組合員に届けられる活動の強化をお願いしたい。安全衛生の取り組みについて、日産労連は引き続き、各労組が労使で安心・安全な職場づくりができるよう活動を推進していく。自動車総連にも、引き続き、事例の共有などを通じ、産業全体への活動の浸透を地道であっても着実に進めていただくことを期待する。

全本田労連　上野 圭美 代議員

バランスを超えて前進を！不確実な時代だからこそ皆で進んでいこう！

私たちは、産業の魅力を向上させようと声を掛け合い前進しようとしているが、皆で考え方や進め方を揃えようとすることに時間を取られ過ぎてはいないだろうかと考える。上部団体は全体のバランスを取ることと同時に、時にはバランスの枠を超えてでも、全体を新たなステージに組織全体を動かしていく役割もある。変化が多い、不確実な今だからこそ、労働組合が労働者の立場で意思を表明し、社会に課題提起することが必要である。

全国マツダ労連　藤村 直樹 代議員

暮らしと職場を守る政策実現に向けて

自動車総連として「現場の声を政策実現につなげる力」を一層高めていくことが重要だと考える。私たちが期待するのは、課題を避けるのではなく「解決の道筋」を示すことである。財源や制度の調整は政治の責任であるが、その実現に向けて働きかけ、特に現場の声を政策につなげていくことが自動車総連の役割であると考える。自動車総連が「組合員の声を政策に変える確かな力」として、存在感をさらに高められることを強く期待する。

三菱自動車ふそう労連　粂　吉徳 代議員

自動車産業の更なる発展に向けた労働組合の活動推進

自動車総連には、自動車産業の持続的な発展を支える活動を引き続き力強く推進し、そこで働くすべての仲間とその家族の安心・幸せの実現のために、異なる環境下にある加盟組合・現場・職場の状況をつぶさに把握され、具体的活動として推進すべきである。とりわけ、自動車総連加盟組合・企業の大半を占める中小企業の活性化は自動車産全体の持続可能性を支える柱であることから、その視点に立った取り組みの推進を強く要望する。

スズキ労連　嶋　将吾 代議員

組織力向上と組織拡大の推進

運動方針に示す「組織力向上と、組織拡大の推進」を強く推し進めるためには、私たち一人ひとりが意識や参加意欲を高め、主体的に活動できる環境を整えるとともに自動車総連のリーダーシップが不可欠であると考える。自動車総連の強いリーダーシップにより、産業界における組合の存在感と発言力が確実に高まると確信している。

SUBARU労連　伴場 禎治 代議員

自動車総連のリーダーシップ、存在感

自動車総連の諸活動に対して、ＳＵＢＡＲＵ労連としても引き続き参画・推進していくことを約束する。そのうえで、自動車総連にはリーダーシップと、自動車総連だからこそできる取り組みと存在感を発揮することを期待する。特にリーダーシップについては、目標達成に向けて各労連を牽引する力に加え、私たちの意見に耳を傾け、共感し、信頼関係を強化することで、自動車総連に集う仲間の成長と組織の発展を促していただきたい。

ダイハツ労連　下仲 康之 代議員

平時の組織強化活動について

組合員一人ひとりの声に耳を傾け、職場の問題、課題の改善や魅力向上に資する提言など、組合役員の活動と労働組合の存在意義が認知されることによって信頼関係が築かれる。その信頼関係があってこそ、初めて組合からの展開、依頼に耳を傾け、行動に繋がる動機付けとなることは言うまでもない。ダイハツ労連は、今一度原点に返り、職場で組合役員が組合員としっかり向きあえる環境整備をサポートし強い組織づくりに向けて活動していく。

全いすゞ労連　菅野　繁 代議員

産業全体の環境改善、競争力向上に向けた期待

自動車産業の喫緊の課題を解決し、実効性のある施策を進めていくためには、各労連、各単組は組合員、従業員のより現場に近い生の声を吸い上げる事が急務であると受け止めている。自動車総連には是非、その声を関係省庁や上部団体への働きかけや協力体制の強化に活かしていただくとともに、私たち自動車産業で働く仲間の悩みや困り事に対して労働者や中小企業が効率良く対応できる支援をお願いしたいと思う。

日野労連　古澤 賢一 代議員

自動車産業の大変革期に向け、日野労連の目指すべき未来

日野労連は経営統合を来年に控え、あるべき姿の実現に向け労使で理解を深め、労働組合として経営側への提言力を高めていかなければならない。経験のない大きな変化が目前だからこそ、活動の原点である職場活動を重視し、労使協調を深め、ありたい姿を目指し、組織力を高めていく。年間休日増やグッドサイクル運動も積極的かつ主体的に取り組んでいるが、引き続き自動車総連が産業労使全体をけん引していただくことを期待する。

ヤマハ労連　早坂 佑樹 代議員

労働組合の意義・役割再確認と組織力向上

直近では企業再編に伴う労組統廃合が進んでおり、労働組合・労連の存在意義、役割を再確認するタイミングに来ていると感じている。今期、運動方針（案）の重点項目の一つである「組織力向上と組織拡大」は、私たちが対峙している問題に直結する取り組みであり、自動車総連には旗振り役としての役割はもちろん、労働組合の意義・役割・重要性を広く世間に周知し、私たち労連の活動を後押ししていただくことを期待する。

部品労連　田口 裕二 代議員

自動車部品産業の発展と魅力向上に向けて

自動車産業は100年に一度と言われる大変革期の真っ只中にあり、技術革新が加速度的に進む中で、従来の産業構造や働き方そのものが変化を迫られており、我々部品企業は生き残りをかけ、あらゆる取り組みに死力を注いでいる。組合員が誰一人取り残されることのないよう、中小の環境改善や体質強化につながる取り組み、魅力ある自動車産業の実現に向けた取り組みを優先課題としてさらに進めていただくことを期待する。

本部コメント

第31期運動方針で掲げた「目指したい姿」の具現化に向けて、誰もが将来に希望を持ち、安心して働き続けられる誇りある自動車産業の構築に向け、自動車総連本部が先頭に立ち力強く運動を推進してまいります。ともに頑張りましょう！

並木 事務局長

皆さんとの連携のもと政策を推し進める

自動車総連組織内議員　参議院議員 **礒﨑 哲史**

日頃から我々組織内議員の活動に本当に力強いご支援をいただいておりますこと、心から感謝を申し上げます。

自動車総連に集う皆さまの日頃からのご理解ご協力に心より感謝申し上げます。第27回 参議院議員選挙においては、皆さまの力強いご支援のおかげで、新たに6年の任期を頂戴することができました。引き続き浜口誠参議院議員と協力して、政策を推し進めてまいります。まずは、国民民主党の公約である、ガソリン税の暫定税率廃止をはじめとした「手取りを増やす」ための諸施策の実現に取り組み、その結果による確かな経済成長とさらなる賃上げへの好循環の構築を目指します。

8月に開かれた第218回臨時国会では、国民民主党をはじめとした野党8党で「ガソリン暫定税率廃止法案」を共同提出しました。当国会では法案の審議は行われませんでしたが、国会閉会中に実務者協議を重ねています。しかし、与党は廃止に向けた合意文書を与野党共同で作成したにもかかわらず、後ろ向きな態度を続けており、予断を許さない状況です。

また、地方税である「軽油引取税」の暫定税率も同時並行で協議を進める必要があり、更に「自動車重量税」の暫定税率など、解決すべき課題はまだまだあります。課税根拠に問題の多い環境性能割も廃止すべきです。一方、政府が、自動車ユーザーから徴収する新税の創設の検討に入ったとの報道もあります。これでは本末転倒です。

現行の自動車関係諸税を見直し、自動車ユーザーの負担軽減を実現すべく、今後も取り組みの手を緩めない決意です。

引き続き、私たち組織内議員の活動へのお力添えの程、何卒、よろしくお願いいたします。

いそざき議員の
活動ダイジェストを動画でご覧ください！
二次元コードはこちら▶

手取りを増やすため愚直に取り組んでいく

自動車総連組織内議員　参議院議員 **浜口 誠**

自動車総連の皆さんには、組織内議員の仲間や国民民主党をご支援いただき、誠にありがとうございます。

国民民主党は、夏の参議院議員選挙において、いそざき哲史参議院議員の当選も含め17議席を獲得し、非改選の議席を含め全体では22議席となりました。参議院においては、予算を伴う議員立法を国民民主党単独で提出できるようになりました。大きな前進だと思います。今後も、国会議員はもとより地方議員の国民民主党の仲間を増やして、国と地方が連携して、手取りを増やす政策等に全力で取り組んでいきます。

物価高騰対策として、ガソリン・軽油の暫定税率廃止に向けた与野党協議が行われています。暫定税率廃止に伴い国と地方合わせて1.5兆円の税収減となります。政府・与党は、この税収減に対して恒久財源（税制見直しによる増税）を確保した上でないと、ガソリン・軽油の暫定税率廃止はできないとの姿勢です。物価高騰に苦しむ国民生活を守るため、ガソリン・軽油の減税を行うことを最優先すべきです。税収の上振れ、外為特会の剰余金活用、歳出削減、2026年度から基礎的財政収支（プライマリーバランス）黒字化する分の活用等によって、財源は国民に新たな負担を求めなくても確保できると考えています。

一方、石破総理が、退任する意向を表明しました。9月上旬時点では、自民党の新総裁が誰になるのか、次期政権の枠組みがどうなるのか、未確定な状況ですが、国民民主党の政策である手取りを増やすため、基礎控除等のさらなる引上げやガソリン・軽油の減税、子育て支援等に愚直に真っ直ぐに取り組んでいきます。今後とも、自動車総連の皆さんとの連携をよろしくお願いいたします。

はまぐち議員の活動を
YouTubeチャンネルでご覧ください！
二次元コードはこちら▶

森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org
この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。